

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第4号

会議等結果報告書			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	5 3
		決裁期日	平成 2 5 年 5 月 1 5 日
名 称	上富良野町協働のまちづくり推進委員会（第 6 回）		
日 時	平成25年4月17日（水） 午後1時30分～午後14時55分		
場 所	保健福祉総合センター 2 階 研修室		
出席者	委員 5 人 町民生活課事務局 3 人 合計 8 名		

[進行：事務局]

◎ 会長あいさつ

会 長：お集まり頂き有難うございます。昨年から皆さんのご協力と確認を得ながら協働のまちづくり事業を進めさせて頂いているところであります。

本日は、アンケート調査の内容について、ご協議頂きたいと思います。

議 題

1 町民アンケート内容の検討について

事務局：北海道工業大学と提携したアンケート調査の素案について協議させて頂きます。

今回のアンケート調査対象は、無作為に抽出し1000世帯を対象とします。

アンケートの目的は、町民の皆さんが自治基本条例や、協働のまちづくりについての認識を正確に判断し、また今年度は総合計画の中間年でもあり見直しの年でもあるので、自治基本条例と総合計画と合わせてアンケート調査を実施することを目的とします。

事務局：協働のまちづくりに関する調査表 1 ページから 5 ページ各設問説明

委 員：問1の選択肢に住民会・町内会に記載があるので、記入例は削除、選択肢の(オ)女性会ではなくて、女性団体としては。また、まちづくりという意味を記載する必要がある、まちづくりの範囲が分からないと、四季彩まつりや、商工フェスティバル等のイベントに参加した人、また手伝った人、ゴミ拾い、或いは、土木工事や建設工事が、まちづくりと思う方もいるのではないかと。

事務局：まちづくりの定義を記載します。例えば、子ども達が通学する際に、地域の人達で交差点付近の除雪をしていることもまちづくりであるが、まちづくりという意味が抽象的で解りずらいので、前段にまちづくりの範囲を記載する。

委 員：問1の選択肢(キ)消防団・自主防災組織であるが、消防団活動は、どちらかと言うと自治会活動に入る部分ではないかと。

事務局：選択肢(キ)については、住民会・町内会

自主防災組織は住民会・町内会に含み、問1の選択肢、(ア)は、住民会・町内会(自主防災組織)にします。

委員：自主防災組織は町内会・住民会の一つである。

選択肢の「(ケ)上記以外の団体との活動」と、「(コ)個人としてのボランティア活動」を入れ替え、上記以外の団体との活動とは、どのような活動かを記載するように。

事務局：問2「まちづくりの活動に全て参加したことがない」の設問を、「参加したことが無いとお答えした方にお尋ねします」という問いに変更します。また今まで参加したことが無い方に尋ねてみます。

委員：活動に参加した時期の境目をどうするのか、いつの時点の活動を対象とするのか。去年の12月までを現在の活動とするのか、年度変わりの4月にするのか、例えば3月31日に除雪をしたが4月からは実施していない、また10年前は活動していないが最近では実施している等、その人の判断で良いと思う。今後活動をしないのであれば、過去に活動したことになり、来年は実施したいと思うのであれば継続して活動しようと考えます。体力的に無理なので今年限りで辞めると考えている人は、その人の判断で良いこととなるのでないか。

事務局：過去に参加した判断は、体力的に無理であり参加出来ないという方は、過去形で答えると思います。

委員：年齢層で、あなたは何歳ですかという設問はあるのか。

事務局：問36～問37に、どこの地域に何年住んでいるか、勤務先についての設問があります。問39にはご家族の続柄と、年齢等を記載するようになっています。

委員：本人かどうかの判断はあるのか

事務局：回答者の欄に印を付けるようにしています。

事務局：問39については、ご本人のみの回答に変更します。

委員：その方が良いと思う。あなたは何歳ですかで良いと思う。

事務局：性別・職業を聞いた方が良いか。

例えば、旭川の会社員であれば、遠距離通勤していると中々、参加出来ない等の理由が分かるのでは。

委員：職業は参考で、会社員・自営業。

事務局：標準的な職業で、選択出来るような問にします。

商業・農業・サービス業・自営業などの職業が、分析として必要なか確認する必要がある。

委員：結果的にボランティア活動、まちづくりに参加している方々が、自営業の方だけが参加していたとなれば、自由な時間がある自営業の方が参加していた判断基準になる。逆に参加者の殆どが会社員の場合は、自営業は忙しくて参加出来ないとの判断になり、時間に自由がある人たちが実施しているといったことになるのではないか

事務局：職業は入れて、表現の仕方を大学側と協議します。

委員：問37は、住所を細部に聞くことにより評価において、いろいろ分析できる。まちづくりのシミュレーションとして、貴重なこと。

事務局：住所の問いですが、住生活基本計画でもこの地区割りで思いました。まちづくりなので、地域の実情を把握するためにも25の住民会単位で細部の回答を得たいと思います。ただ、十勝岳地区については、回答者が限定されてしまう恐れがあることから好ましくないの見直します。地域は25住民会とし、設問を「あなたは、どの住民会に」に

変更します。

勤務場所・年齢は、20歳からとし、学生も対象者となりますので、働いている場所・通っている学校の場所は何処ですかという問いを、学生の場合は注意書として就学地を記載してもらうことにします。調査対象年齢は20歳以上の方としたい。

委員：了承

事務局：問3から問6について説明

委員：承認

事務局：問7について説明

委員：設問の中で、行政であれば参加ではなく推進となる。役場職員ということであれば参加していますとなるのではないかと。

事務局：これは、職員を目的に書いてあるので、設問の、「行政(役場)」を「職員は」に修正します。

委員：何故、役場職員だけに限定したのか。あなたはまちづくりに積極的に参加していると思いますかという設問を入れた方が良いでしょう

事務局：職員に対する町民の方々の印象を聞くための設問ですが、あえて職員だけの印象をアンケートで聞く意味もないのでこの設問は削除します。また、条例の見直しが必要であるかと思いませんかの問いで、見直すべきであるとした場合、どの程度の見直しが必要なか意見を聞くような設問を載せませす。

会長：役場職員で産業振興課の職員が、四季彩まつりに出ていることは業務なのか。

事務局：業務として四季彩まつりの警備や、実行委員会のメンバーとして出ています。業務としての参加は、まちづくりの支援にはなじまない。役場職員が互助会として行灯等に参加することは、まちづくりへの参加だと思いがそれが参加しているという境目なのかは、町民の方々には分からない。

委員：解りました。

事務局：問8、問9について説明

委員：選択肢のコンビニなどへのポスター掲示のところに、スーパーを追加しては。

委員：解りました。

事務局：問10について説明

委員：活動事例を載せてみてはどうか

委員：解りました。

事務局：問11～問17について説明

委員：了承

事務局：問20について説明

委員：了承

事務局：問21について説明

委員：上富良野の魅力で星が綺麗、また雪質も最高と聞いているのでパウダースノーを入れてはどうか、郷土史、子どもの挨拶、交通マナー、魅力のある文化施設がある、土の館等。

事務局：日本画家の美術館は削除し、文化施設にして土の館・美術館に修正します。

また雲の上の露天風呂の表現を温泉と修正します。

事務局：問22について説明

委員：了承

事務局：問23について説明

住んでいて、借家がないのは矛盾しているので、借家が少ない選択肢、削除。
本屋がないという選択肢は具体的すぎる。日用品や食料品は地元で購入するが、ちょっとした文房具は町外に買いに行く、その表現をどのようにすれば良いか。

委員：専門店が無いという表現ではどうか

事務局：解りました。

委員：了承

事務局：問24について説明

委員：選択肢で移住したいというのは、他町村へということか

事務局：移住したいと思った方が、何処に行きたいのかを聞く。学校の先生や自衛官等の転勤で、やむを得ず転勤する人は、良い町かどうか、住み続けたいと思うかで、選択してもらえば良い。

委員：了承

事務局：問25について説明

委員：了承

事務局：問36について説明

委員：了承

事務局：問38について説明

学生の場合は、通学地は何処ですかと修正。

委員：了承

事務局：問39について説明

家族全員の年齢構成の回答は求めないことにします。
最後に上富良野町への要望を記載して頂く。

委員：了承

委員：問11の選択肢で、(2)から(4)までは住民という言葉を使い、(1)は町民となっているので統一するのが良いのでは。他の選択肢と目で見ても分かりやすく、判断出来るように下線を入れる。

事務局：統一し、分かり易いように波線を引きます。また、他の町のアンケートは、子育て関係や、地域の防犯・防災についての設問や、安心して暮らせているか等、行政に対して、どのようなサービスが良いかという内容としているところもあります。

委員：問23の中に、子育てについて部分を追加してみてはどうか、例えば子育て機関がない、教育の場が少ない、教育関係が整ってない等。

事務局：了解。

2 その他

事務局：本日修正した調査票を再度点検するために、次回5月15日水曜日に会議を行いたいが。

委員：解りました。

会長：大変長時間に渡りありがとうございました。次回もよろしくお願いいたします。

次回会議の日程

次回の会議は5月15日（水）の開催を予定する。

閉会（14時56分）

【会議録は決裁終了後、行政ホームページ、町政情報提供コーナーに公開。】